

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス わおん トア教室			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～	令和7年2月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年2月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・適切な支援計画を立て、それに沿った支援を行っている。 個々のニーズに合わせ、きめ細やかな行き届いた支援を提供することが出来ている。	・保護者様と児童の思いやニーズを細かく聞き取り、聞き取った内容と重ね合わせた目標を設定している。支援の継続が行えるように細かく記録に残し、日々の成長を感じながら支援を行っている。全ての職員がご本人様の気持ちに寄り添い、個々の特性に沿った声掛け、支援を行うよう意識している。	・今後も保護者様やご本人様の願いやニーズ、思いを大切に、個々に寄り添った支援を継続していく。 ・研修及びミーティング等により、職員の質と支援技術の向上を図り子どもの発達ニーズに応じた活動内容を提供する。
2	・固定化しない活動や様々な分野の成長に働きかけることのできる活動を提供している。	・5領域に沿った活動を職員間で話し合って決定している。 ・季節に合った行事を取り入れて四季を感じることが出来るようにしたり、外出先は固定しないようリサーチし、事前に細かく下調べすることで安全に楽しめるようにしている。	・今後も5領域の発達に沿った活動、支援方法などを考えながら活動を立案していく。 ・充実を図るために、ごども一人一人の発達や行動をアセスメントする力を高めプログラムへ活かす。
3	・学習・余暇時間・プログラム活動の内容、プログラムのねらい、出来ている事、課題点などを細かく保護者様にお知らせしている。	・支援報告をLINEで送る際、文章に加えて動画や写真を送ることで事業所での様子がより伝わるように工夫をしている。 ・送迎時にその日の活動、ご本人様のご様子を口頭でお伝えするようにしている。	・今後も保護者様に伝わりやすい支援報告を継続していく。 ・支援報告をLINEで送る際は、文章を端的にし、読みやすく伝わりやすい支援報告を目指す。 ・送迎時の保護者様との関わりも大事にし、さらなる信頼関係を構築を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様の対応力の向上を図るための電話やLINEでの個別対応は行っているが、集団でのペアレント・トレーニングの研修や学習会を行うことができていない。	・日程の調整や事業所のスケジュール(土曜日、祝日のサービス提供を行っているため)などにより、ペアレントに関連する活動の設定が難しい。	・事業所のスケジュールや日程を早いうちから把握しておき、開催に向けて調整を行う。 ・ペアレント・トレーニングを行うにあたって、研修に参加するなど職員がそれぞれ知識を習得し実施ができるよう検討していきたい。
2	・父母の会の活動を支援したり、保護者会、参観日等を開催する等、保護者同士の連携の支援が行えていない。	・交流の機会を求める声と、現状で満足との意見があるがニーズに応じた対応が必要である。	・保護者様同士の交流の場を設けることは出来ていないので、ニーズに応じた開催方法を今後検討していきます。
3	・事業所のイベントや行事ごとに地域住民を招待するなどの活動を行うことが出来ない。	・地域のイベントや行事に参加して交流を図ることは出来ているが、事業所でイベントを開催して招待するなどの活動は行えていない。利用児童の成長を図る活動に焦点を当てて活動を組み込んでいる為、地域に向けて意識を向けることが出来ていない部分があったように思う。	・地域住民を招待した行事や、地域の関係機関との連携イベントを積極的に検討し、地域に開かれた事業運営を目指します。